

太陽光発電所オーナーのみなさまへ

電気測定による

太陽光パネル 性能診断のご案内



太陽光パネルに異常があると、
長期間の発電量に大きく影響します!

太陽光パネルも劣化します!

表面からはわからない、発電量モニタも反応しない異常が
総合発電出力の低下を招いている可能性があります。

劣化の早期発見で発電量を確保しましょう!

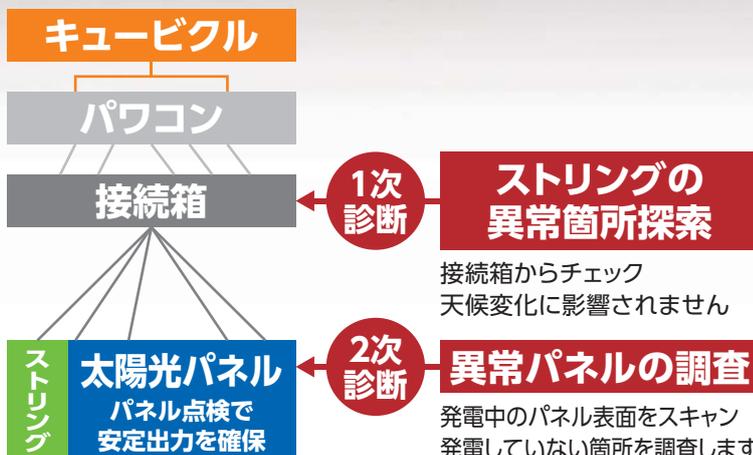
※保安管理の点検は、漏電の発見など安全確保のために、
法律に基づいて行うもので、発電出力の低下は分かりません。

- パネル1枚あたり、20年で21万円分の発電ができます
- 太陽光パネルの故障率は5年で約2%です（産業総合研究所）
- 2%の枚数は、1MWあたり80枚になります

劣化例

電池出力	0.8MW、海外製パネル、運転2年
状況	太陽光パネルの異常により 22枚 のパネルが1/3発電して いませんでした。
単純損失	年額最大 8万円

※金額は、買取単価40円、稼働率12%で算出



特長

1. 天候変化に影響されません (I-V特性測定は除く)
2. 規模の大きさにより、診断料金を算出するため、小・中規模向きです

発見できる異常

1. 著しい汚れ
2. パネルや配線類の断線、高抵抗化
3. バイパスダイオードの短絡

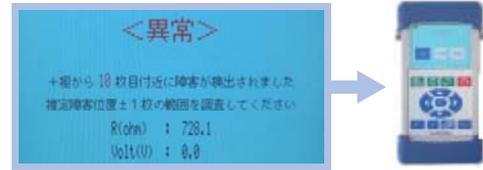
電気保安のプロが、専用の測定器で診断します



一次診断

インピーダンス測定器による ストリングの異常箇所探索

一次診断として開放電圧・インピーダンスを測定することで、出力低下を招いているストリングを判別します。



二次診断

ソーラーパネルチェッカーによる 異常パネルの調査

二次診断として、発電中のパネル表面をスキャンすることで、発電の有無を検出し、異常パネルを調査します。



※指定枚数まで無料



I-V特性測定装置による 出力特性の測定

I-V特性の測定によりパネルの出力性能をストリング間の相対比較によって診断します。



※天候(日射量)により、診断精度が低くなる場合があります。

※太陽光パネルの交換はメーカーとの保証条件によりお客さままでのご対応となります。

お問い合わせはこちらまで